

地域ごとのまちづくり計画対話シート

作成日： 令和6年（2024年）10月29日

作成者：（課名） 市民協働推進課

（氏名） 玉田 綾香

1 基本情報

項目	入力欄
まちづくり協議会名	長尾台小学校区まちづくり協議会
地域ごとのまちづくり計画	【基本目標】 2. インフラ整備「歴史的価値を残し、誰もが住みやすいまちづくり」
	【具体的な取り組み】 地域公共交通システムの整備推進
取組内容の関係課	交通政策課

2 対話の状況

(1) 実施概要
ア 日時： 令和6年（2024年）10月26日 10時00分から11時45分まで
イ 場所： 長尾台自治会館
ウ 出席者： 以下のとおり ＜長尾台小学校区まちづくり協議会＞ 地域ごとのまちづくり計画推進委員会 インフラ部会 7名 ● ＜市＞ 協働の取組推進担当次長 下坂 市民協働推進課 玉田 ＜ネットヨタ神戸株式会社＞ ネットテラス宝塚 ●
(2) 確認できたこと
5年前、まちづくり計画策定時に交通手段についてのアンケートを実施した。その時と比べると社会情勢も変化し、それに伴い、新たな地域交通の手段も生まれている。実際に運用されている事業者の話を伺い、地域にとって一番良い方法を判断し、地域住民へ諮っていききたい。
ア デマンド交通について ネットテラス宝塚 ●より、デマンド交通について説明があった。概要は以下のとおり。 (ア) コミュニティバスとの違い コミュニティバス：時刻表通りに運行。 【メリット】予約の手間がかからない。 【デメリット】決められたバス停まで行かないといけない。 デマンド交通：予約制で運行。 【メリット】小回りが利く、乗降場所を自由に設置できる 【デメリット】利権の関係で、駅敷地内への乗り入れ不可
(イ) 運行するにあたっての懸念事項 人件費の確保と車両の乗り入れに関して利権の問題がある。また、運行していくにあたり、収支を考えるとネットヨタ神戸のみで運行していくことはできない。市の助成金を受けつつ運行していくこととなるため、市との協議が必要となり、予算の確保も含めると時間を要することが考えられる。
(ウ) 他市の事例 ・猪名川町（デマンド交通） 事業主体はネットヨタ神戸と猪名川町、運行主体は日の丸ハイヤー株式会社（タクシー会社）。乗降場所はゴミステーションを中心に設置。
イ アンケートの実施について 本件について、地域住民向けのアンケートを実施する。アンケートの内容は11/4（月）に検討し、内容を決定する。
ウ その他 デマンド交通やコミュニティバスといった地域公共交通システムを構築するにあたって、その地域から外に出るための交通手段としてだけでなく、地域外からその地域に来てもらえるような仕組みや場所があればよい。地域に付加価値をつける。